

PEM021-P05

会場:コンベンションホール

時間: 5月24日17:15-18:45

太陽活動サイクル24の立ち上がりについて

On Rising of Solar Cycle 24

巨 慎一^{1*}

Shinichi Watari^{1*}

¹情報通信研究機構

¹NICT

サイクル23の極小は、黒点の観測されない日数が、2008年に265日、2009年には263日と最近の数サイクルの中でも活動の低い状態となっている。これまでの統計的な解析によれば、極小における低い活動状況は、次のサイクル24の太陽活動が低くなることを示唆している。ベルギー王立天文台のSIDCからの報告によれば、太陽黒点数の13カ月移動月平均値は、2008年11月と12月が最小値で1.7となっている。このことから、サイクル23の極小は、2008年の11月から12月で、現在は、次の極大に向けて徐々に太陽活動が上昇しつつあるフェーズにあると考えられる。サイクルの立ち上がり時間とそのサイクルの極大の大きさには、よい正の相関があることが知られている。そこで、太陽サイクルの初期の立ち上がりとそのサイクルの極大の大きさの関係について統計的な解析結果を行ったのでその結果について報告する。

キーワード:太陽活動サイクル,黒点数,極小,極大

Keywords: solar cycle, sunspot number, solar minimum, solar maximum